



報道関係者各位

NPO法人地域診療情報連携協議会、熊本地震被災地へストレスケア支援と多言語支援を無償提供

～AI・ICTを活用し、心のケアと外国人被災者や避難者のコミュニケーション支援を実施～

NPO法人地域診療情報連携協議会（理事長：瀧澤清美）は、熊本地震の被災地支援として、外国人被災者、外国人住民、訪日外国人、聴覚・言語障がいのある方々への避難者のストレ

スケア支援と多言語コミュニケーション支援を無償で実施するプロジェクトを開始いたします。

本プロジェクトは、東日本大震災における通訳ボランティア活動の経験を原点とし、災害時に誰一人取り残さない支援体制の構築を目指すものです。

また、群馬大学大学院保健学研究科との連携により、避難所におけるストレスケアやオンライン支援の実施について検討を進めています。

なお、本プロジェクトで使用するAI通訳システムやストレスチェックシステムは、株式会社C&Tや株式会社円未来より無償提供を受けて運営します。

支援内容

1. ESC (Easy Stress Check) によるストレス測定

避難生活による心身への負担を可視化するため、自律神経指標（HRV）を活用したストレスチェックを実施します。

2. AIカウンセラーによるセルフケア支援

測定結果をもとに、AIが利用者との対話を通じてストレス状態を整理し、呼吸法や睡眠、生活習慣などのセルフケアを支援します。

3. 専門職によるオンライン支援

ストレスが高いと判定された方については、看護職等によるビデオカンファレンスを実施し、必要に応じて医療・福祉機関へつなぐ体制を目指します。

4. 多言語受付電話「tel-trans QR」の無償提供

避難所、自治体、医療機関などで、多言語による円滑なコミュニケーションを支援します。

5. AI通訳電話「tel-trans」の無償提供

外国人被災者が母国語で日本国内へ電話できるAI通訳電話（Webフォン）を提供します。

群馬大学との連携

群馬大学大学院保健学研究科との連携により、「共創の場 JST JPMJPF2301の活動の一部」の避難生活におけるストレスケアの実践と検証を進めます。

特に、災害関連死や認知症高齢者の状態悪化の予防を目的として、現地のケアマネジャーや関係機関とのオンライン連携について検討しています。

協力自治体・医療機関・ボランティア募集

本プロジェクトでは、熊本県内の自治体、医療機関、福祉関係機関との連携を進めるとともに、医師、看護師、保健師、公認心理師、社会福祉士、ケアマネジャー、通訳ボランティア、IT技術者、大学・研究機関など、全国からご協力いただける皆様の募集をしています。

企業・団体スポンサー募集

本活動は、企業・団体・個人の皆様からのご支援により継続的な運営を目指しています。

ご支援いただいた資金は、AI通訳電話、多言語受付システム、ストレスチェック機器、AIカウンセラー、オンライン相談システムの運営・維持、および被災地での支援活動に活用いたします。

システム提供

本プロジェクトで活用するAI通訳電話「tel-trans」、多言語受付電話「tel-trans QR」、ストレスチェックシステム「ESC (Easy Stress Check)」は、株式会社C&Tが開発し、NPO法人地域診療情報連携協議会へ無償提供しています。

お問い合わせ先

NPO法人地域診療情報連携協議会

理事長 瀧澤 清美

(住所) 群馬県前橋市石倉町4-4-10 205

(電話) 027-251-5515

(メールアドレス) takizawakiyomi@gmail.com

(プロジェクトHP) <https://www.shin-ren.net/>

【技術協力・デバイス協力・通訳協力】】

株式会社C&T

株式会社円未来

IMIA・国際医療通訳者協会日本支部